



パ
ブ
ー
実
験
室

"twipub"

www.twipub.com

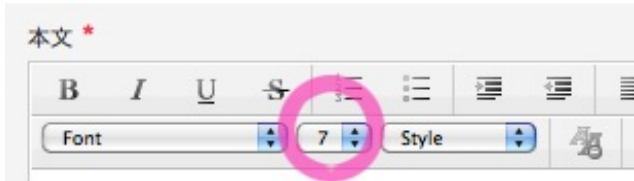
まえがき

パブーでどんなことができるのかな? の実験室です。いろいろやってみたいと思います。よろしくお願いします。確認デバイスがiPhone3GS・iPhone4・iPod touch (2010年モデル)・iPadの4種類です。

ビューワーアプリは「iBooks(ver1.2)」です。実験結果画像は縦と横を含めるとバリエーションが多く、最小限の掲載となります。電子書籍は、見るデバイスによって表示が変化しますから、この本をダウンロードしてそれぞれのデバイスでどう見えるか比べてみるのもいいかも知れません。

2010年12月27日 graphis 水口 知己

文字の大きさを変更してみる実験



文字の大きさテスト。(何もせずに入力)

文字の大きさテスト。(大きさ1)

文字の大きさテスト。(大きさ2)

文字の大きさテスト。(大きさ3)

文字の大きさテスト。(大きさ4)

文字の大きさテスト。(大きさ5)

文字の大きさテスト。(大きさ6)

文字の大きさテスト。(大きさ7)

実験結果

文字サイズを指定しない文字の大きさは〈大きさ3〉と同じ。iPhone3GSだと〈指定なし、大きさ1、2、3〉だとやや滲む。3GS、4(Retina)、iPod(Retina)だと〈大きさ1と2〉は同じサイズで表示されるが、iPadでは差がある。

追加実験

必要はなさそうだけど、敢えて大きさをHTMLエディターで8.9.10とさらに大きくしてみる実験。

CODE:8910

8910

実験結果

7以上には大きくなりませんでした。

フォントを変更してみる実験



フォントを変更FontGraphis0123

フォントを変更FontGraphis0123(ヒラギノ明朝 Pro W6)

フォントを変更FontGraphis0123(ヒラギノ明朝 Pro W3)

フォントを変更FontGraphis0123(HGS明朝E)

フォントを変更FontGraphis0123(メイリオ)

フォントを変更FontGraphis0123(Osaka)

フォントを変更FontGraphis0123(MS P ゴシック)

フォントを変更FontGraphis0123(Arial)

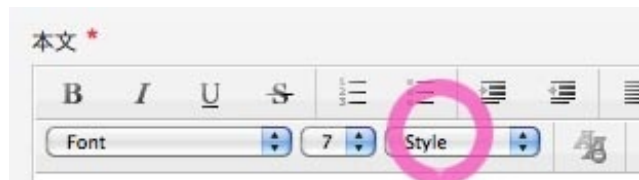
フォントを変更FontGraphis0123(Georgia)

フォントを変更FontGraphis0123(sans-serif)

実験結果

変化なし。PDFでも確認してみたのですが、変化はありませんでした。

文字のスタイルを変えてみる実験



文字のスタイル(何もさわらない)

文字のスタイル(Paragraph)

文字のスタイル(Header1)

文字のスタイル(Header2)

文字のスタイル(Header3)

文字のスタイル(Header4)

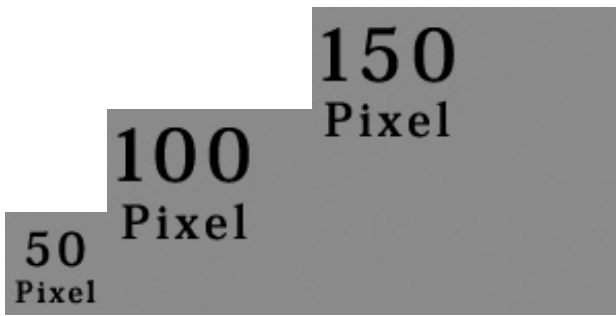
文字のスタイル(Header5)

文字のスタイル(Header6)

実験結果

ParagraphにするとPタグがつく → <p>oooooooo</p>

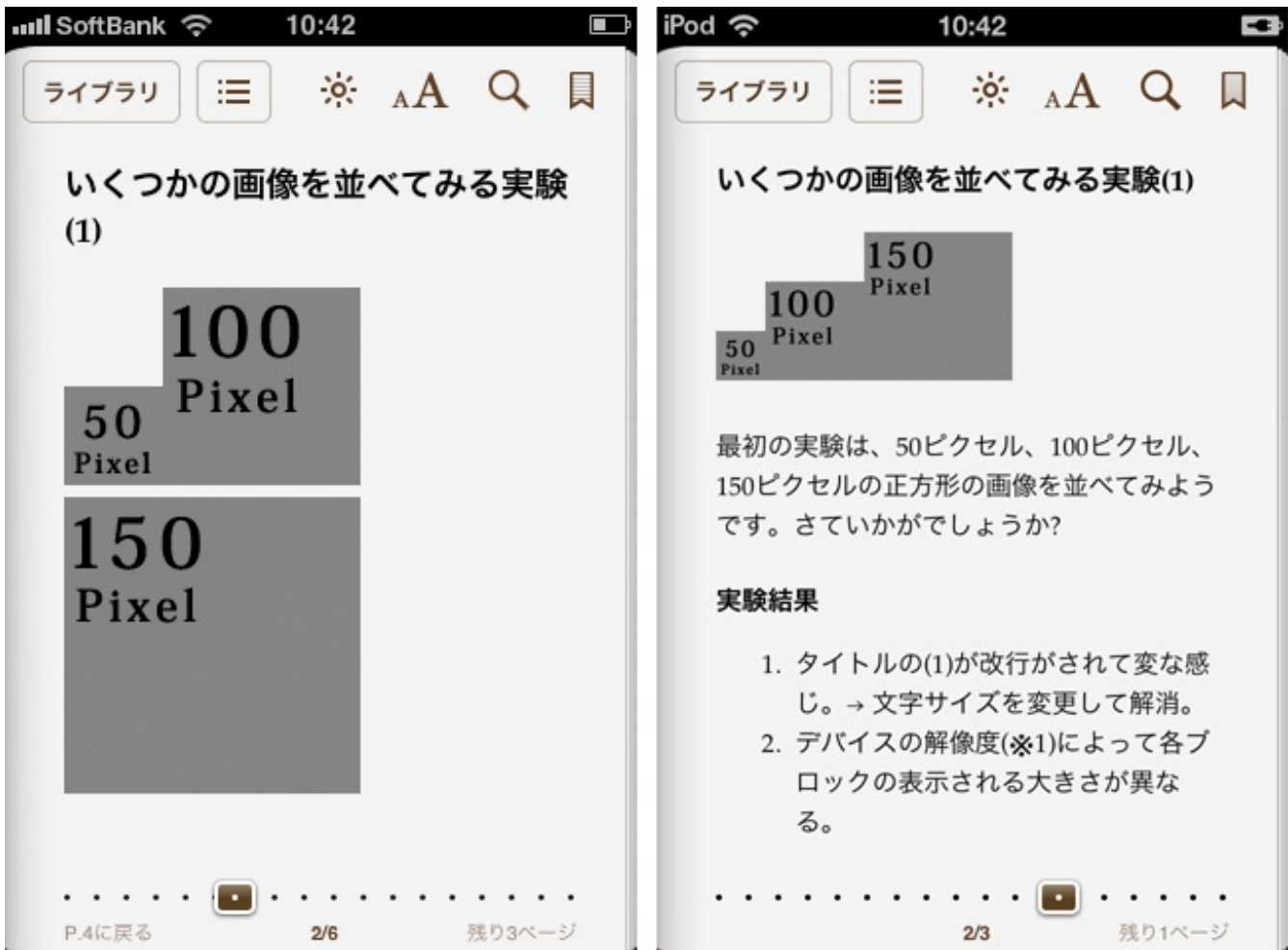
いくつかの画像を並べてみる実験



最初の実験は、50ピクセル、100ピクセル、150ピクセルの正方形の画像を並べてみよう。さていかがでしょうか？

実験結果

デバイスの解像度(※1)によって各ブロックの表示される大きさが異なる。



※左がiPhone3GS、右がiPod touch(Retina)です。

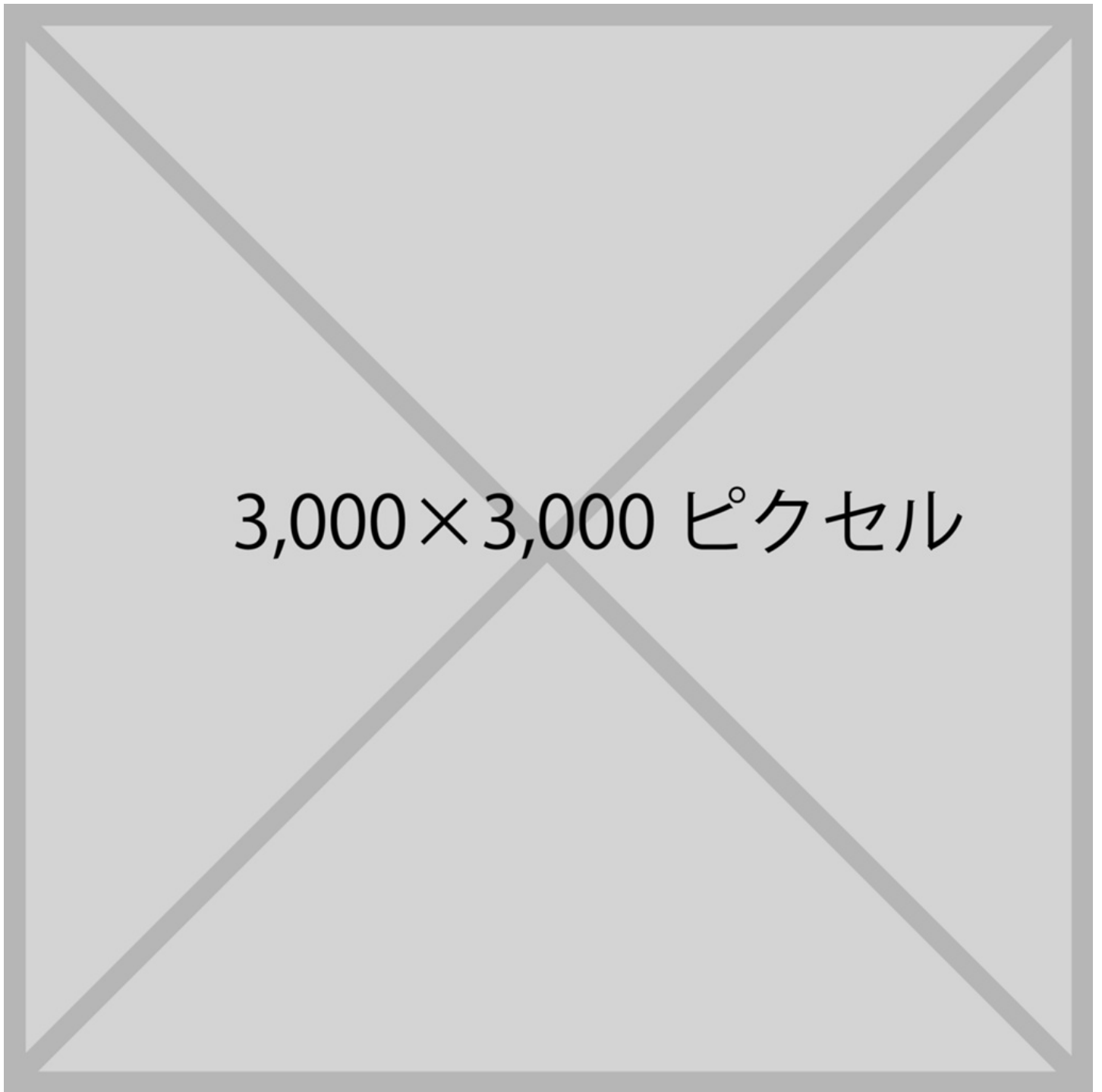
実験教訓

解像度の理解は大切。

次の実験

3,000ピクセル×3,000ピクセルの画像はiPadでどう表示されるか？

※1: iPhone4は画面は960×640ドット(326dpi)のIPS液晶で、iPhone 3GSは480×320ドット(163dpi相当)の4倍の解像度を持つ。

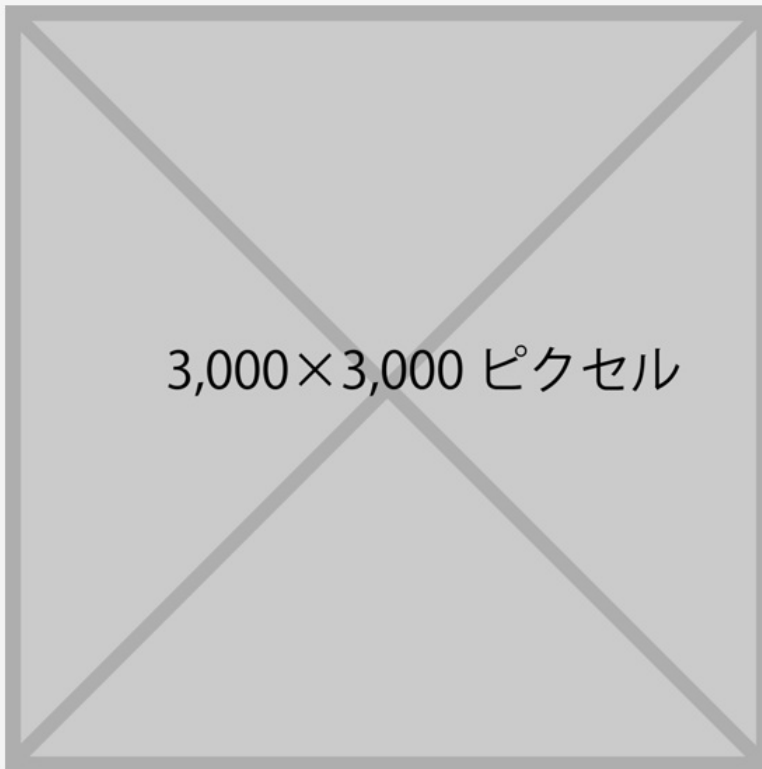


さてどう見えていますか？

実験結果

デバイスに限らずそれぞれの横幅表示サイズに縮小されて表示されました。

3,000×3,000ピクセルの画像を配置してみる実験(2)

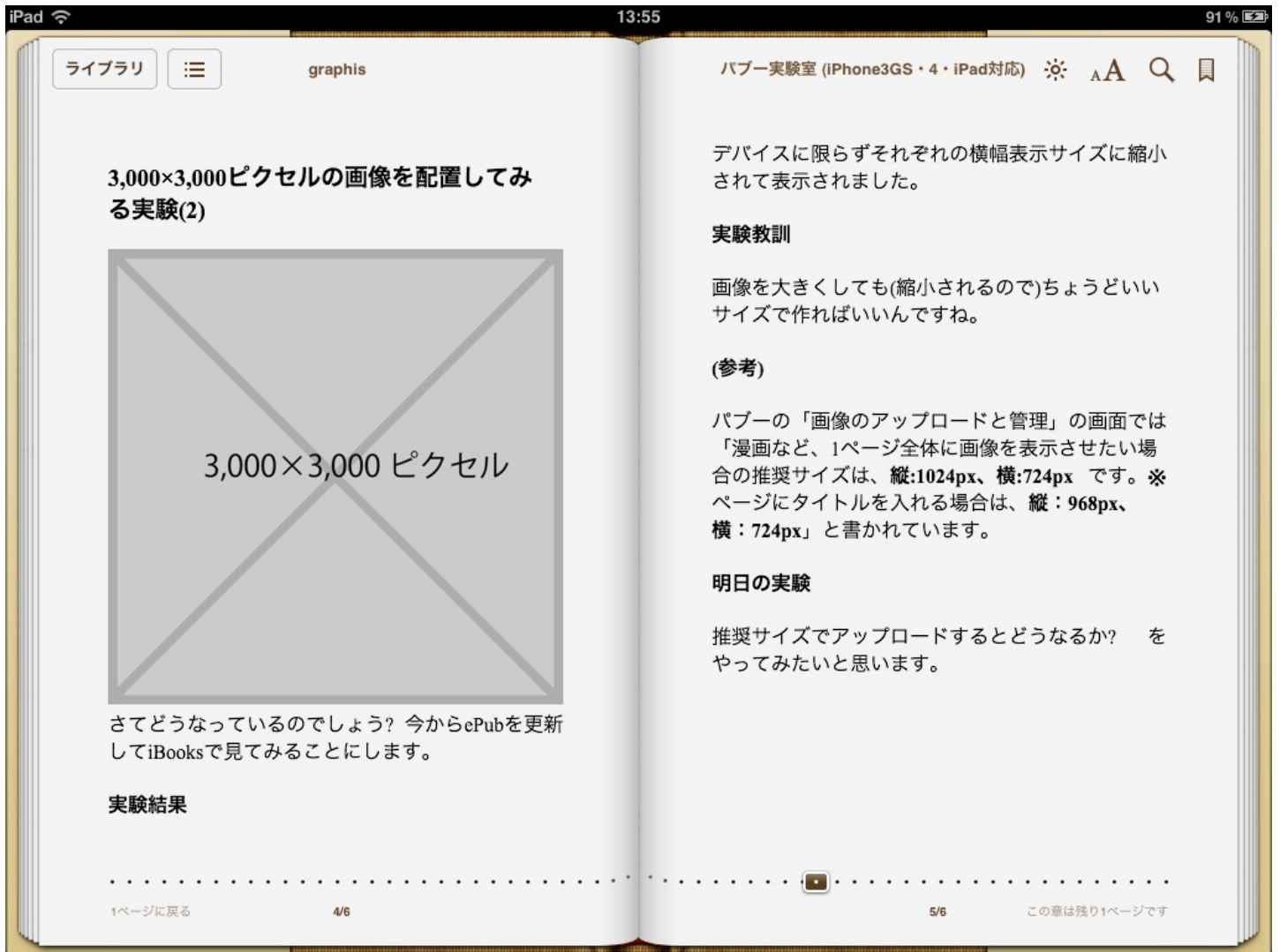


さてどうなっているのでしょうか？ 今からePubを更新してiBooksで見てみることにします。

実験結果

デバイスに限らずそれぞれの横幅表示サイズに縮小されて表示されました。

実験教訓



iPad横

実験教訓

画像を大きくしても自動的に縮小されるので、ちょうどいいサイズで作ること。

(参考)

パプーの「画像のアップロードと管理」の画面では「漫画など、1ページ全体に画像を表示させたい場合の推奨サイズは、縦:1024px、横:724pxです。※ページにタイトルを入れる場合は、縦:968px、横:724px」と書かれています。

次の実験

推奨サイズでアップロードするとどうなるか? をやってみたいと思います。

推奨サイズの画像を配置してみる実験

実験内容

パプーでは「漫画など、1ページ全体に画像を表示させたい場合の推奨サイズは、縦**1024px**、横**724px** ※ページにタイトルを入れる場合は、縦 **968px**と」書かれています。このサイズで配置すると、iPhoneやiPadでどう見えるかテストしてみたいと思います。

次のページから順に「推奨サイズの画像のみ」「推奨サイズの画像+テキスト」「タイトル+縦968pxの画像」「タイトル+縦968pxの画像+テキスト」のページを作成してみます。

実験結果

確かに“推奨”サイズらしい結果でした。iPhone・iPod touchでは見事にぴったり収まっていました。ただ、iPadでは、推奨画像+テキストのテキストがページ下段に表示されます。



iPhone・iPod touch



iPad横

タイトル+縦968pxの画像の場合は、タイトルが長い場合、画像が次のページに移動します！(次の画像参照)



iPhone3GS

実験教訓

文字の大きさは閲覧者が自由に変更できるので、完全に1ページ内に納めたいなら、1枚の画像にするのがベスト。

次の実験

次の実験は画像のAlt属性は、iBooksの検索に掛かるかどうかです。

728px

パ
ブ
ー
実
験
室

1,024px

"twipub"

www.twipub.com

728px

パ
ブ
ー
実
験
室

1,024px

"twipub"

www.twipub.com

推奨サイズ1024×728ピクセルの画像にテキストを加えたものです。



728px

パ
ブ
ー
実
験
室

968px

"twipub"

www.twipub.com



iBooks(iPad)の画像表示寸法を割り出す実験

実験内容

iBooksの画像表示サイズについていろいろ調べてみますと、幅**547×縦800px**という情報を得たのですが、本当にそうなのかを調べてみます。実験方法は、次のページに幅20px×高さ1,000pxの画像を、次のページには幅1,000×高さ20pxを配置し、それぞれのデバイスでキャプチャ画像を実測するというものです。

実験結果



実測してみますとiPad縦での画像表示サイズは幅547、縦800pxでした。ただ、画像を重ね合わせると左上の画像開始座標が違っていました。理由が不明なので、幅547×縦800pxの画像を作成し、追加の実験を行なうことにします。

補足実験(1)

幅547px×縦800pxの画像を作成し、iPad縦で縦横何ピクセルで表示されているか実測。

※iBooksと大きなGif画像の相性が悪いためGif画像は削除しました。

実験結果

画像は問題なく幅547px×縦800pxで表示されました(iPad縦)。では、なぜパブーの推奨サイズと違うのかということですが、書き出されたPDFを見てみますと幅547px×縦800pxでは、PDFの枠に対して小さく、推奨サイズである幅728pxにしますと左右の余白はちょうどいい感じになります。ただ下に少し余裕があります。

最大表示サイズ幅547px×縦800pxを幅728pxに合わせて拡大しますと縦が1,065pxになります。このサイズの画像でPDFがはみ出てしまわないかどうか。これを再度追加実験します。このサイズではみ出さないなら、パブー推奨サイズ縦1024px、横724pxより、縦が**41px**下に伸び表現できるサイズが大きくなります。

補足実験(2)

幅728px×縦1,065pxの画像を作成し、PDF書き出しではみ出さないかを実験。

※iBooksと大きなGif画像の相性が悪いためGif画像は削除しました。

実験結果

PDF及びePubでも問題なく表示されました。

実験教訓

漫画や写真集のような場合は、~~パブー推奨寸法(幅728px×縦1,024px)ではなくて幅728px×縦1,065pxがジャストフィットサイズ~~のようです。

実験結果(追記)

幅728px×縦1,065pxの画像を配置した際、ePubでは問題ないものの、PDFでは1~2ピクセルほど次ページにまたがること判明しました。(1週間ほど前は大丈夫だったはずなのに...)



補足実験(3)

ということですので、1ピクセルずつ縦幅を短くした画像を配置し、最大表示画像を探っていきます。1枚目のピンクの画像の縦幅を1,064px、2枚目を1,063pxに差し替えてみます。

実験結果

1,064px、1,063pxでも、PDFでは2ページにまたがりました。

補足実験(4)

では順番に、1,062pxから、1,061px、1,060pxと3枚差し込んでみます。

実験結果

縦1,062pxで見事1ページに収まりました！

実験教訓

パブー推奨寸法は、幅728px×縦1,024pxであるが、iPhone・iPadで最大限の画像を使うなら、幅728px×縦**1,065px**がジャストフィット。PDFでもうまく収めたい場合は縦**1,062px**がベスト。





推奨寸法画像と最大表示寸法のページめくり実験

実験内容

推奨寸法画像：幅728px ×高さ1,028px

最大表示寸法：幅728px ×高さ1,062px

先の実験では、パブー推奨寸法より、iPhone、iPad縦においては、下方向に高さが伸ばせて表示できることが判明しました。しかしながら、よく観察しておりますと、最大表示寸法の場合は、ページをめくるレスポンスがかなり低下するようです。

~~推奨寸法画像5ページを~~

~~最大表示寸法5ページを~~

~~追加して、そのレスポンスを体感してみます。~~

※あまりにも読み込みが遅いので、削除しました。

実験結果

寸法に変わりなく動きが重いです。グレーの画像は全て**50KB**以下の**Gif**画像です。

追加実験

今度は最大表示寸法：幅**728px** ×高さ**1,062px**の**Jpeg**と**PNG**画像を作成して**5ページ**追加しテストしてみます。

実験結果

JpegとPNGでは問題のない速度になりました。

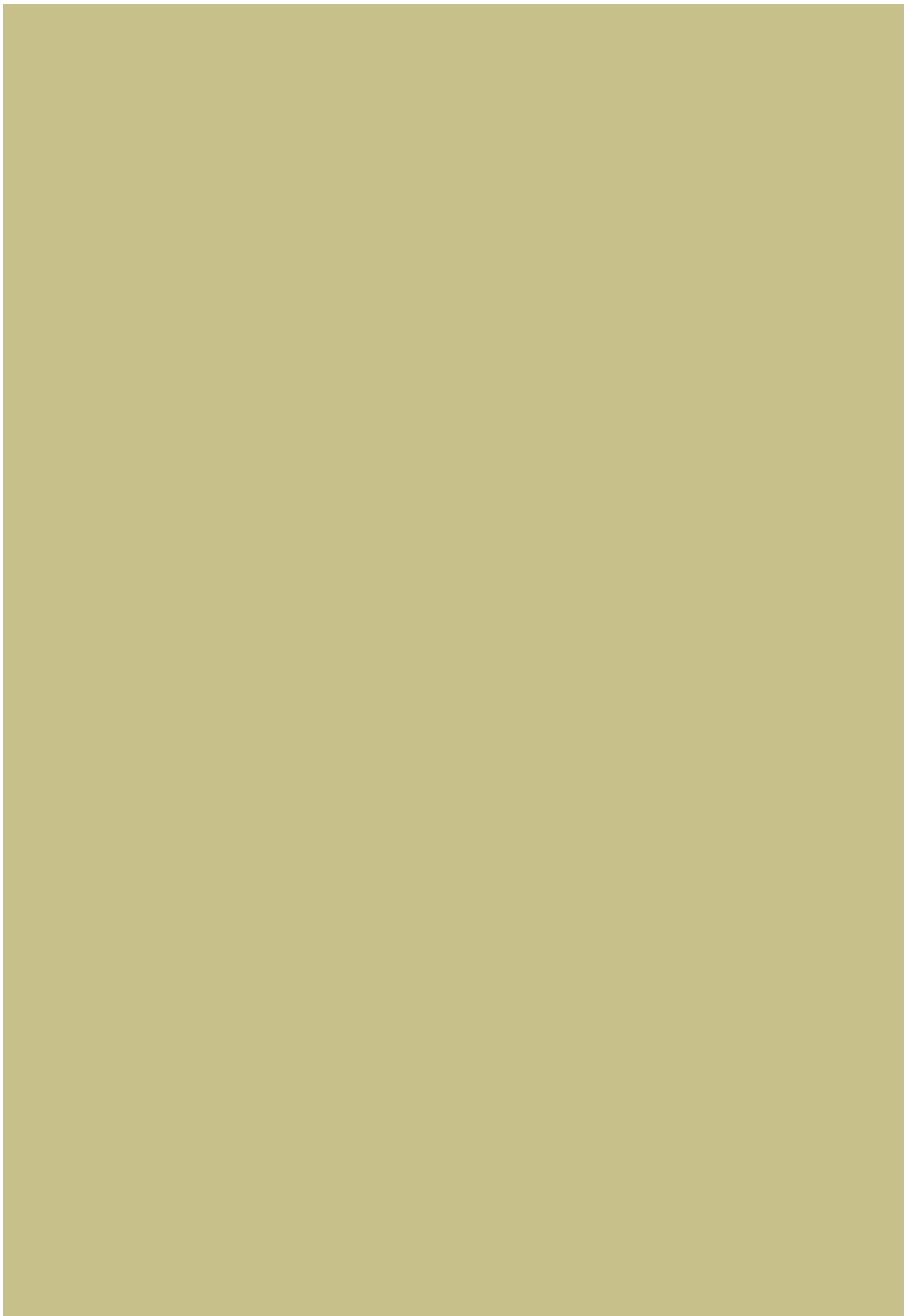
実験教訓

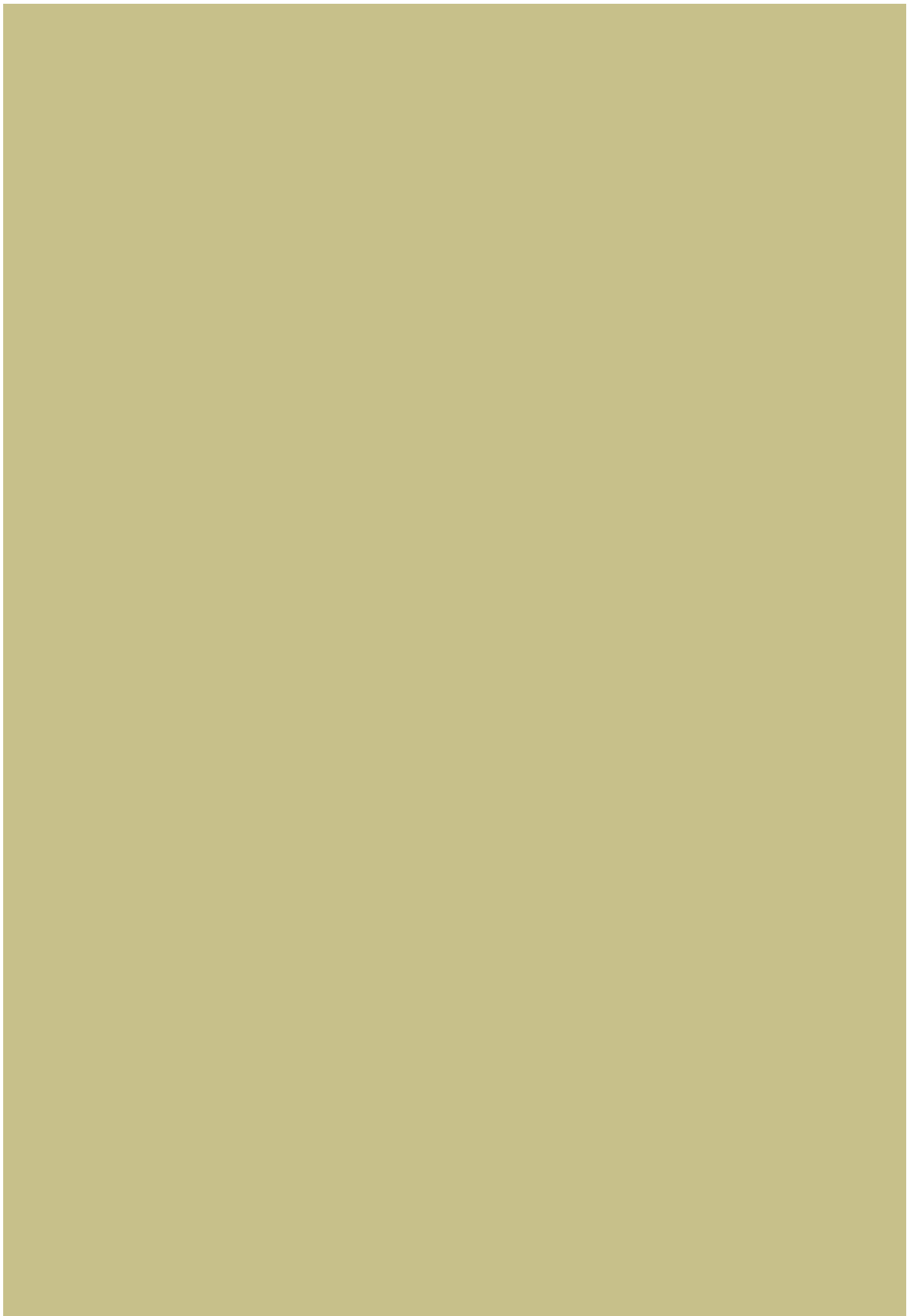
大きい画像はGifはNG、JpegとPNGでは問題なし。

ここからJpeg画像です。(50KB以内)



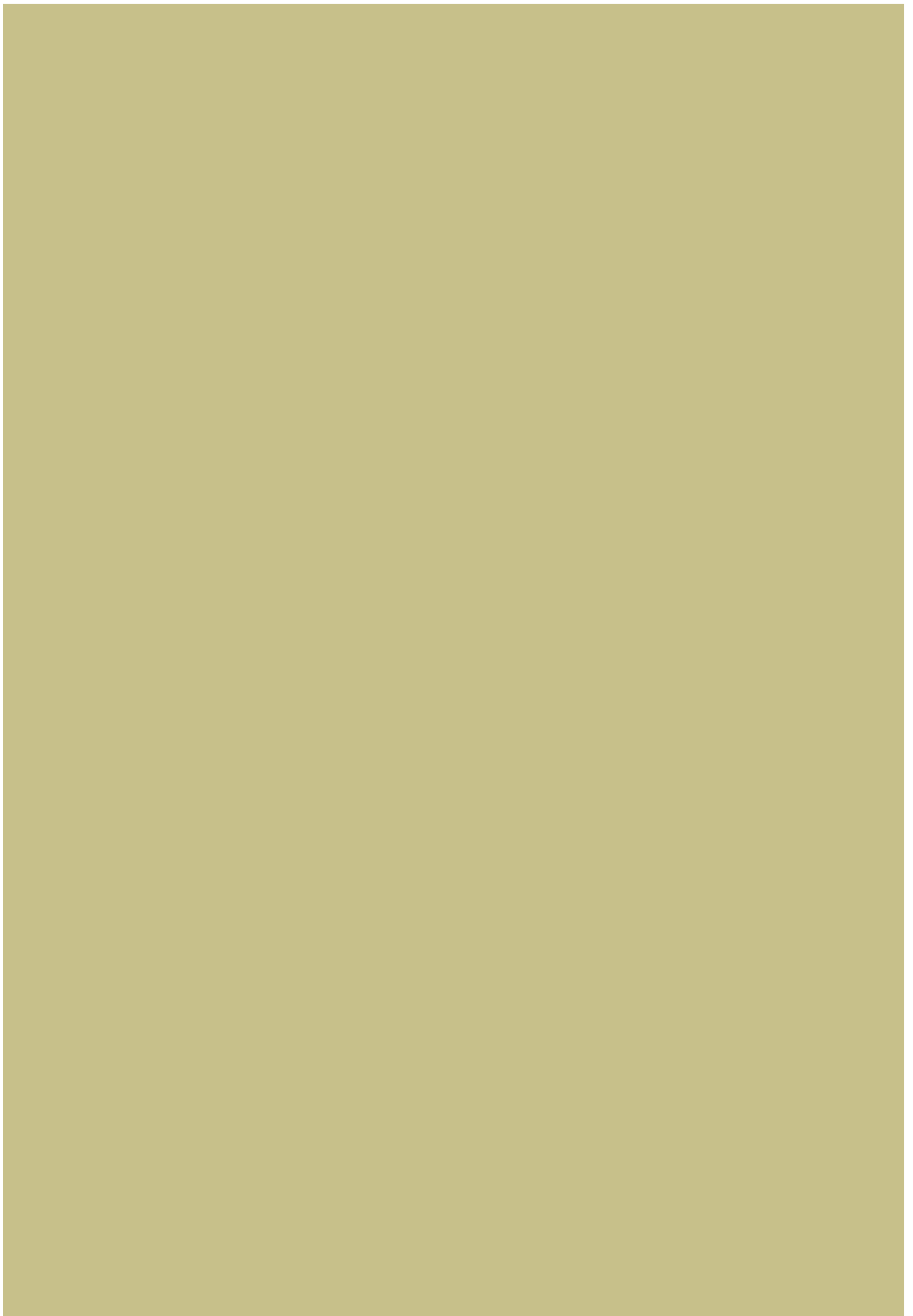


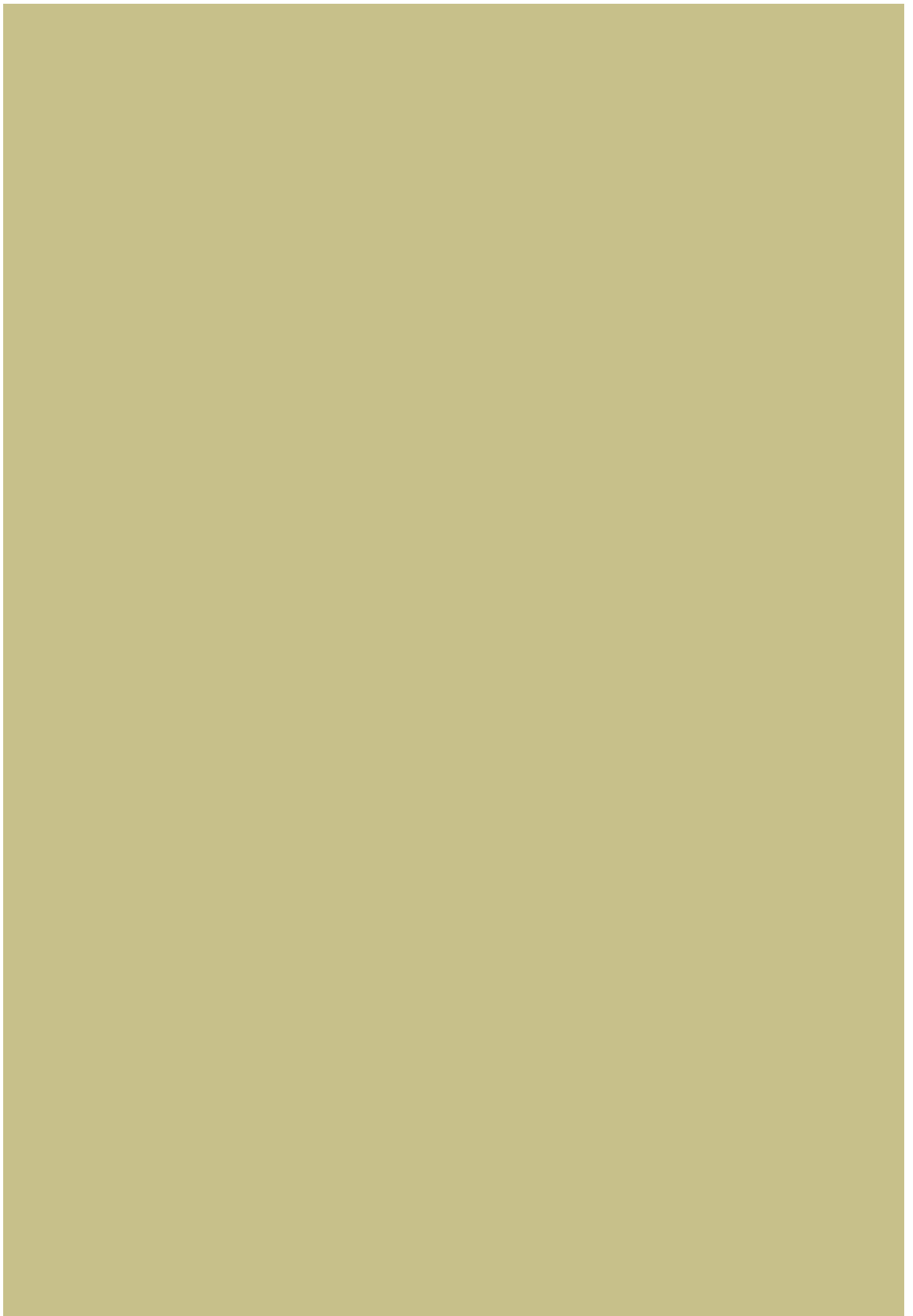


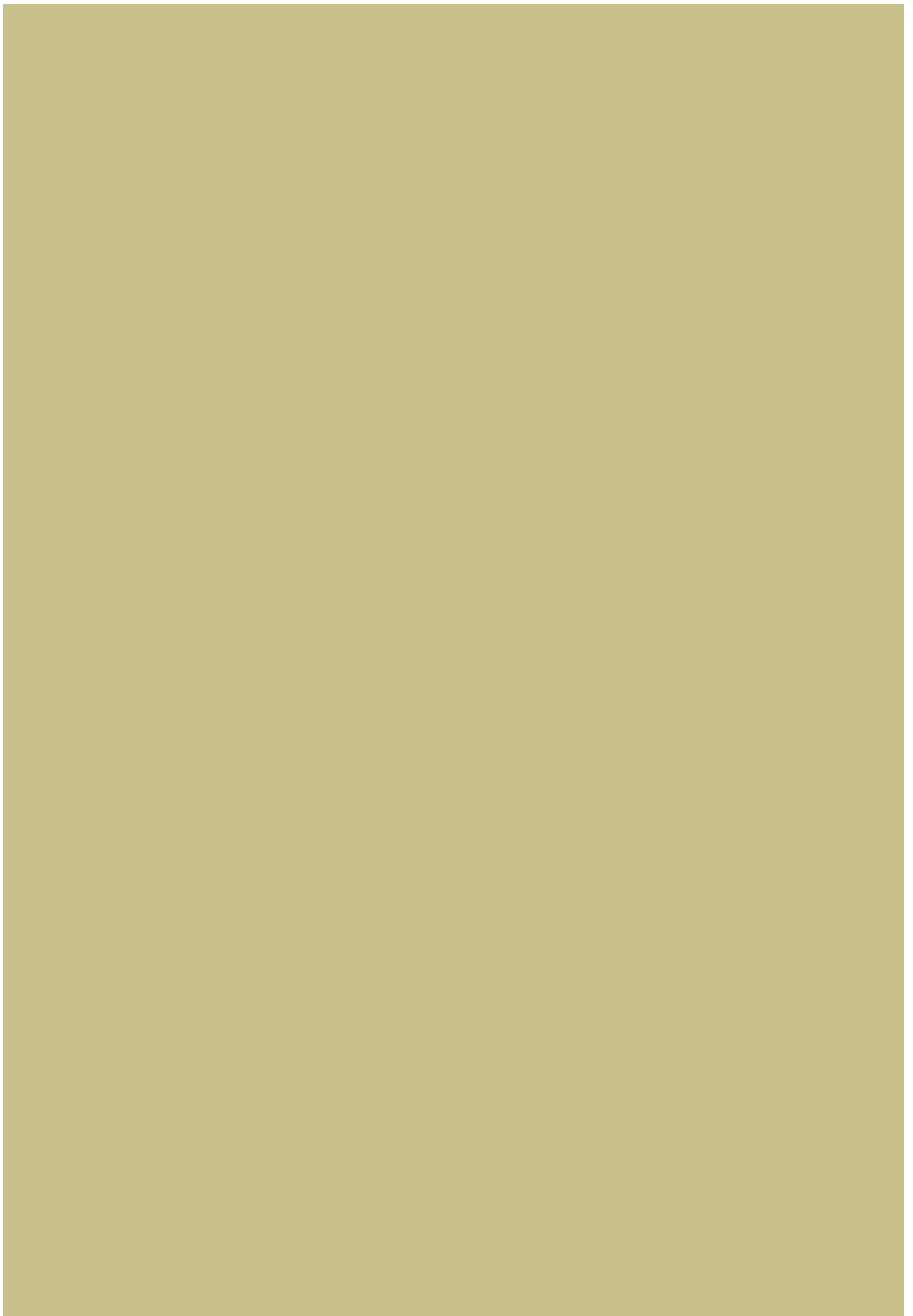


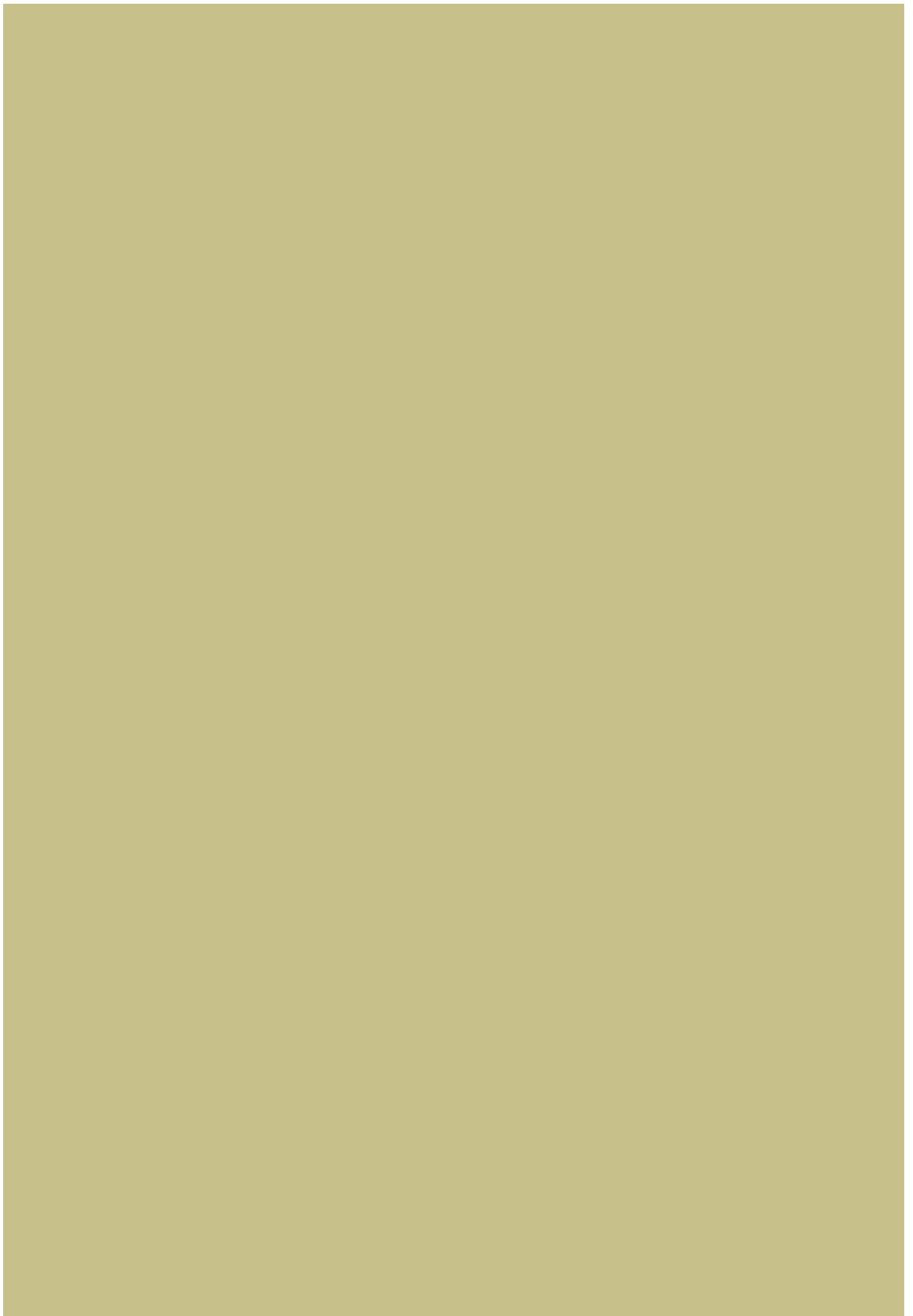


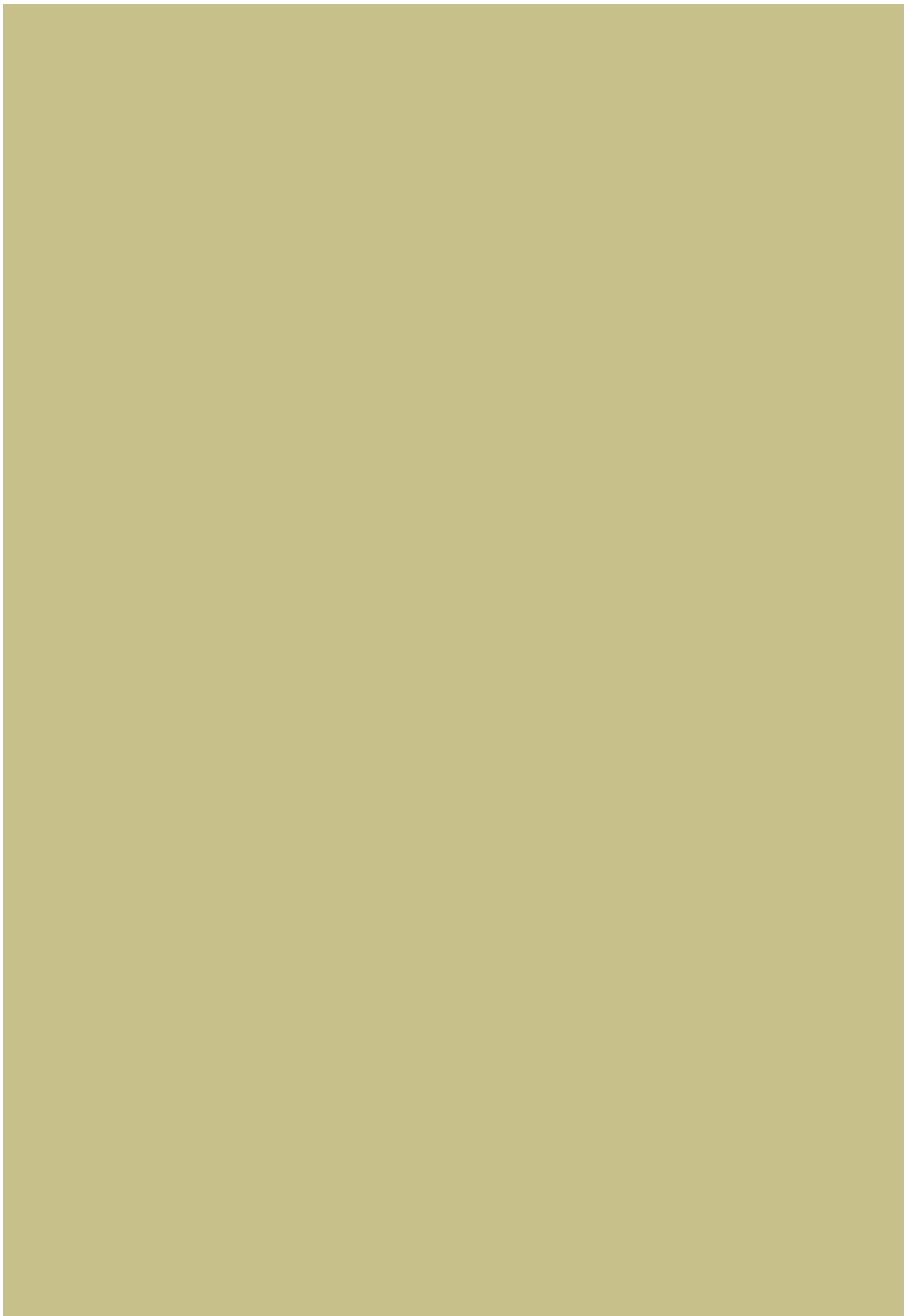
ここからPNG画像です。(50KB以内)











iBooksとGif画像は相性が悪いのかを実験

段々マニアックな実験になりつつあるのでこれで最後にします。先の実験で判明したiBooksのGif画像の読み込みが遅い件を再確認します。

ePubは、画像フォーマットとしてJPEG、GIF、PNG、SVGに対応しています。SVGに関してはまたいつか実験してみます。

実験方法

比較的大きめのGif画像と、同じ画像をJpegとPNGで書き出しレスポンスを体感してみる。

実験結果

際立ってGif画像のレスポンスが遅くなることはありませんでした。

追加実験(1)

読み込みの遅かった画像と同じ寸法同じ形式で、別の画像を差し込んでみます。

※iBooksと大きなGif画像の相性が悪いためGif画像は削除しました。

実験結果

ダメでした。遅いです。

追加実験(2)

推奨画像寸法に変更し差し込んでみます。

※iBooksと大きなGif画像の相性が悪いためGif画像は削除しました。

実験結果

ダメでした。やはり遅いです。大きい画像はGif形式厳禁です！

Gif画像です。



PNG画像です。



Jpeg画像です。



iBooksはaltタグを検索できるかの実験

実験内容

紙の本のに対して電子書籍の優位な点の一つは、索引を巻末に作らなくても全文検索ができること。では画像をテキストで補足するaltタグは、検索に掛かるかどうかを実験してみたいと思います。

実験方法

次の2つの画像にそれぞれ“実験室”と“illust”をalt属性を設定。iBooksで検索。

```
5F455CF189A3_l.png" alt="実験室" /></div><div><br /></div><div><br /></div><div></div></div>
```

alt=" 実験室 " と設定した画像

alt="illust" と設定した画像

実験結果

残念ながら、検索には掛かりませんでした。ただ、1ユーザーとしてはalt属性は検索可になって欲しいので、次期バージョン1.3に期待することにします。

SVG1.1

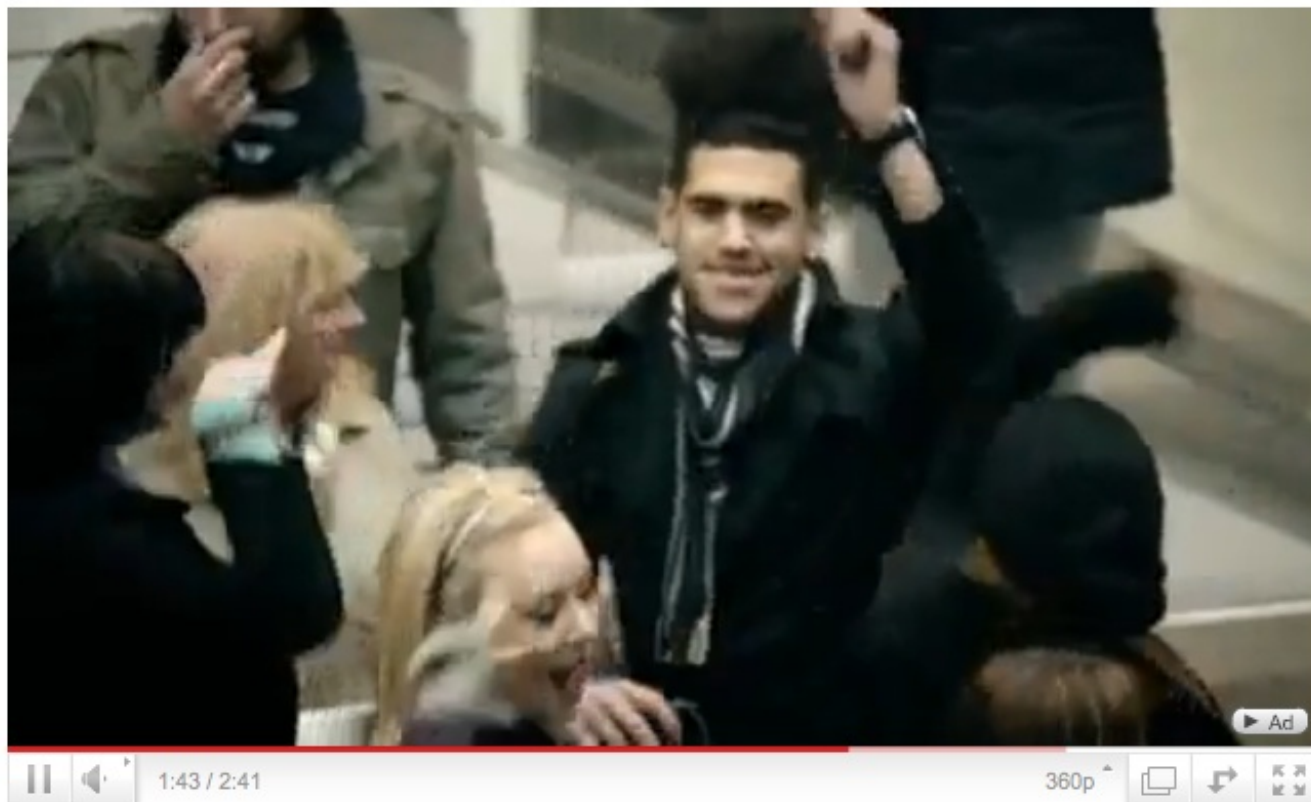
www.twipub.com

YouTubeを埋め込んでみる実験

パブには、HTMLエディターがありますので、Youtubeを埋め込んでみてはどうかと思いついたので実験してみます。

実験方法

YouTubeから動画埋め込みのタグをコピーして、HTMLエディターにペーストしてみる。



実験結果

iBooksでは何も表示されませんでした。(残念)

公開中の本を一旦非公開にして再公開するとどうなるか実験

実験内容

公開している書籍を一旦非公開にして、再度公開するとどうなるか？

(実験意図)

パブーで少し困ったなあと感じてることがありました。何かと言いますと、この本は、気が向いたときに1ページ1ページ書き足していくというブログスタイルです。

ですから、日々ページ数が変わるのに、最初に公開したときのページ数3ページのままになっていて、(3ページの本なんて、誰もダウンロードしませんよね。)ページ数を現在只今のものになりたい。が本実験の意図です。

実験結果

見事に3ページから、12ページに書き変わりました！残念ながら★(お気に入り)の数は1つだけあるのですが、そちらは書き変わりませんでした。

実験教訓

2010年12月末現在パブーの仕様では、ページ数を現在の数字にするためには、一旦非公開にして、公開にすると更新される。

(コラム)ダウンロード数は自分のも含まれている？



『パパー実験室』は公開して2日になります。閲覧数は610でダウンロード数は22冊です。昨晚までは2つの実験が終わったばかりでしたし、ページ数もほとんどないのに、22冊もダウンロードされるって、結構すごいんじゃないの!?!と思ったものの、どうやらログインせずにダウンロードした場合は自分のも含まれているっぽい。よく調べてみますと....

ありました！パパーからのお知らせによりますと(2010-10-26)「作者本人がログインしている間に限り、に自分の本を閲覧したり、自分の本をダウンロードした場合はカウントされないようになりました。」とのことで、ログインをせずに本をダウンロードしますと、自分でダウンロードしてもダウンロード数にカウントされるようです。

(コラム)2011年末にはパブー2万冊を超える？



ここ数日の体感数では、毎日新しい本がここパブーで30～40冊発刊されています。電子書籍の盛り上がりはこれからでしょうから、1日50冊と楽観的予想をしますと年間1万8,250冊。現在が7,500冊ですから、来年の今頃には、2万冊を超えているのではないのでしょうか？

アマゾン・キンドルのタイトル数は72万タイトル(産経新聞2010.10.22)と聞くと、何だかなあとため息が出てきそうですが、パブーらしい素敵な作品がたくさん出てくるといいですね。

(コラム)パブーの未来予想図は「今後の予定」でわかる？



パブーのおしらせ

2010年12月末現在の、パブー未来予想図は「インフォメーション」から伺い知ることができます。2011年にどれだけが実現されるか分かりませんが、進捗状況から見ますと『ブログからのインポート(60%)』『複数人で本を編集できる機能(20%)』『iPadアプリ・表示最適化(20%)』の順で実現が期待できます。

『ブログからのインポート(60%)』が実現しますと一気にコンテンツが増えることになるでしょう。

『複数人で本を編集できる機能(20%)』もいいですね。一人で電子書籍をつくるのも楽しいけど、複数人だと、オンラインでインタビュー物とかもできちゃいます。要望としては、複数人で印税を別ける機能があるとさらにいいのですが...

iPadは来春にも、iPad2が発売されるとの噂がありますので『iPadアプリ・表示最適化(20%)』も期待です。

それから何と言っても「電子書籍」にとって最大のイベントは2011年5月に策定予定のePub3.0でしょう。余程のことがない限り、日本語の縦書き、ルビ対応がなされるということですから、この前後は相当盛り上がるのではないのでしょうか？

(コラム)パブーのランキングの仕組みは？



パブーには現在27カテゴリーがあり、それぞれのカテゴリーで20位までナンバリングされています。じゃあ、その仕組みは？と聞きたくなるのが人情です。

さっそく、グーグル先生に聞いてみたものの残念ながら「分からない」とのことでした。ランキングは自動的に行なわれているのは間違いありませんから、基本的には、

- 本につけられたしおりの数
- 本につけられたお気に入りの数
- 本につけられたコメントの数
- 本がダウンロードされた数
- 本が閲覧された数

の5項目から、計算されているのではないかと思います。後一点考えられるのは、発刊日時です。ずっと同じ本が並んでいるのは好ましくないはずですから、ある一定期間内という制限があるかも知れません。

まだ、私もパブー初心者なので、何か判明し次第追記していきたいと思います。

(記録)現在『パブー実験室』はカテゴリー「ノウハウ」70冊中28位です。

<参考>『ヒロエ』パブーで不正行為が... <http://hiroerohi.seesaa.net/article/157323125.html>

ランキングは完全に手動なのかも？



この本をパブリッシュ後、ダウンロード数は増加していくもののカテゴリー「ノウハウ」の中で継続して28位であったのが、1月4日正午、いきなり11位にランクインしました。ということは... 様々な数値を元にしつつ(それしかないから)、なかの人がランキングを入れ替えておられるんですね。いやあ、大変だ。ご苦労様です、なかの人ということで、追記しました。(2010年1月4日追記)



「電子書籍／電子出版の今を知る、今が分かる ITmedia eBook USER」(2010年11月22日付)の記事で、paperboy&co.の取締役副社長、パブーの責任者を務める吉田健吾氏さんのインタビュー記事がありましたので、ご興味のある方はどうぞ。

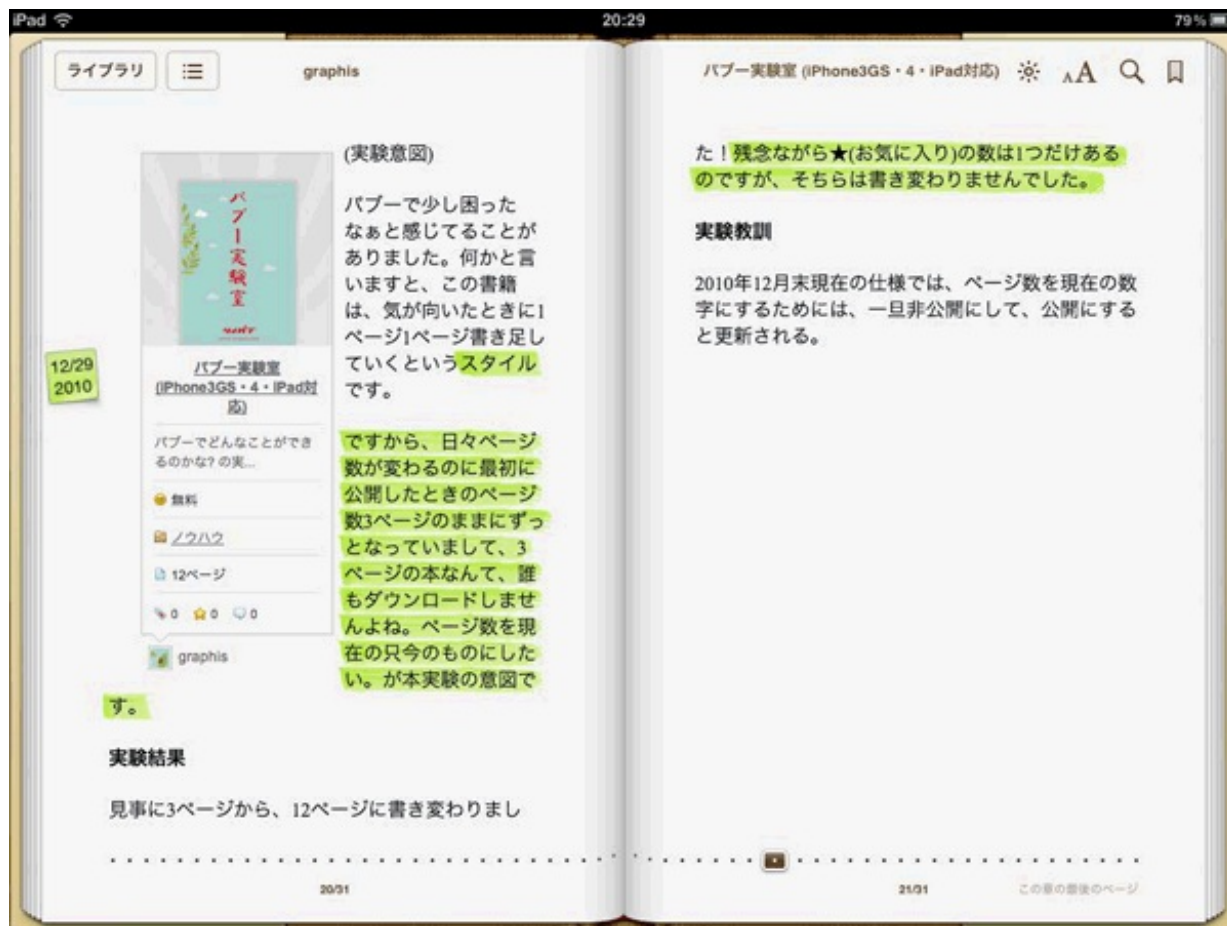
<http://ebook.itmedia.co.jp/ebook/articles/1011/22/news016.html>

インタビューの中で、へえと思ったことは、

「ブログの属性と違うところで目につくのは高齢者の方が多いことですね。ブックログだと利用者の過半数が20代、JUGEMでも10～20代の女性が7～8割を占めていたり、若い女性に使っていただいているサービスが弊社では非常に多いのに対して、パブーは60～70代くらいの方にも割と使われていて、本を公開されている方もけっこう目立っています。」

素晴らしいことじゃないですか。印刷業会にとっては寂しいことかも知れませんが、無料で本を出せるなんて、家族にとっては経費節約だし、iPadやキンドルを小脇に抱えて、続々と本を出版し続けるおじいちゃん、おばあちゃん素敵だと思います。

(コラム)校正もiBooksで！



日々ページを書き足しながら、気がついたことがあります。どうしても文章には、誤字脱字がつきものですし、日を置くと書き進めていた興奮も冷めて、細かな修正をしたくなります。そういうときの校正作業はiPad(iPhone)+iBooksがすごく便利です。

修正したい部分を「ハイライト」にしておけばすぐにわかるし、文字で補足したい場合は「メモ」が使えます。修正が済めば「ハイライト」「メモ」を削除するだけで完了です。楽ちんです。ぜひお試しください。

(コラム)電子書籍の閲覧に欠かせないもの

いろいろ書いてきてふと気付いたのは、電子書籍の閲覧に欠かせないものとして「データ+リーダー+アプリ」の3つが必要ということでした(まあ、当たり前ですが)。もうひとつ加えるとパプーのような“ブックストア”あるいは“データの置き場”で、これがないと効率よく本が入手できません。

データに関しては、リーダーとも密接な関係があるものの、まず汎用性の高いePub、PDFがあります。次いで独自の形式として、アマゾンのAZW、ボイジャーの.book、シャープのXPDF等があります。各社それぞれ独自のフォーマットがあるものの、Google、Apple、Sony、シャープ、Barnes & Noble(Nook)もすでにePub対応を決めていますので世界標準はePubであるという認識で問題ないと思われれます。

また、独自形式もePubと全く異なるものはないらしく、変換はそう難しくないそうです。

リーダーに関しては、巻末にまとめましたので、詳しくはそれを見ていただくとして、大きくは液晶系(iPhone,iPad,GALAXY S,Nook※)と電子ペーパー系(Kindle,Sony Reader,Nook※)に別れます。液晶系はタッチパネル方式であり、PCに近い多機能性があります。電子ペーパー系は、ブックリーダー専用が開発された端末で、読書に特化した製品です。電子ペーパーは反射光で視認でき屋外でも使用できます。

※Nookの初期型は電子ペーパーと液晶のハイブリッドで、新型は液晶フルカラーです。

アプリに関してはiPadとかiPhoneを触っていると気が付くのですが、本を閲覧するリーダーアプリは“iBooks”だけでなく“i文庫”であったり“Stanza”であったり、“PDF Reader”であったりいろいろあります。AppleやAndroidでは、アプリ開発環境が一般に公開されているため、今後も様々なリーダーアプリが作られることでしょう。

以上、電子書籍閲覧に欠かせないものとしてデータ、リーダー、アプリに関して簡単にまとめてみました。

(コラム)電子書籍元年は2010年?



このところ立て続けに電子書籍関連本を読んでいるのですが、もうひとつピンとこないのが“電子書籍元年2010説”です。確かに、メディアでもソーシャル・メディアでも、2010年電子書籍は大きくクローズアップされてはいましたが、私の身の回りで電子書籍を愛用している方は皆無しですし、キンドルを買おうかなあと検索してみると、販売は英語サイトのみからの購入のみで、日本語コンテンツも見当たりません。

もちろん、キンドルが800万台以上売れた(という説がある※)米国にとっての2010年は、電子書籍元年と呼ぶに相応しいかも知れませんが、紙の本販売より電子書籍の売上げが上回ったと言われる2009年※を米国の電子書籍元年とするのも納得です。

しかしながら、日本にとっての電子書籍はまだ“元年”とするには弱々しく、夜明け前と言うべきなのではないでしょうか？

そうそう、シャープさんのガラパゴス触ってきました。サクサク動いて液晶もキレイなのですが、購入するには至りませんでした。

[米アマゾン：今年の「キンドル」販売台数、800万台超えも一関係者](#)

[Amazonで「電子書籍が上回った」意味](#)

(コラム)100ダウンロード超えました。



パプー実験室 (iPhone3GS・4・iPad対応)

パプーでどんなことができるのかな?の実験室です。いろいろやってみたいと思います。よろしくお願いします。確認デバイスは iPhone3GS・iPhone4・iPod touch (2010年モデル)・i...

📖 ノウハウ 📄 48ページ

👤 0 ⭐ 2 💬 0 🌱 106 📄 1,383 🆓 無料

🔧 本の管理

📖 本の確認

この本のダウンロード数が100を超えました。(ありがとうございます。)半分くらいは自分でダウンロードしたものなのであれなのですが、いい感じですね。ページビューが1,383というのも予想以上です。有料だとかうはいかないのかもしれませんが、1,000ダウンロード目指して、コンテンツを追加していきますね。今後ともよろしくです。(2010年1月4日)

(コラム)電子書籍のポジショニング

電子書籍は、ネット内のストック型Webサービスの究極の形になるべきかなと。ツイッターのツイートのように瞬時に流れていってしまうものではなく、いつまでも永続的に保存・アーカイブされうるもの、その極地としてのポジショニングしかないと思うんですけどね。

という意味において、パブーさんは、出版された本は、世界5カ国で分散ミラーリングし、未来永劫保存しますとか宣言してしまえばいいのに。ブログや他のサービスは知らないけど、電子書籍は片っ端から永久保存する。と宣言できれば、位置付けがハッキリすると思うし、役割りが明確になるのでは。

と言うのも、電子書籍なるものに興味を持って以来、何度も聞かれるのが「ホームページやブログと何が違うの?」ってことと「ケータイ小説と何が違うの?」っていう2つです。前者は、基本は同じだけど、課金しやすいから、これまで出てこなかったコンテンツが出てくる可能性があるのでは?と答えていて、後者は、ケータイ小説は文字だけだったけど、電子書籍は、図版も音楽も動画も組み込めるから違うと答えています。

大体の方は、これで納得していただいているもののまだちょっと弱い。上記に付け加えて、電子書籍はブログやソーシャルと違って永久保存されます。と言えれば電子書籍の位置付けがすごくハッキリするし、他のものと差別化ができるんじゃないでしょうか。

もう少し書き加えるとすると、ネットには、どんどん情報が流れていくフローなサービスと、ブログのようにデータを溜め込んでストックしていくサービスとの2種類があります。コグレさんの『マキコミの技術』では、ツイッターはフロー型で、ブログはストック型だから、これら2つのタイプのサービスを上手に使い別けてみましょうって話になっているのですが、僕の見方は少しだけ違って、ブログもフロー型に見えてしまう。

どんなに上手く作っていても、最新の記事が1番トップに出てくるのがブログだから、その意味ではやっぱりブログもフローなんじゃないかなあと。その点、電子書籍は、可読性と保存性を追求してきた本を模してできてるメディアだから、本というのはストック型の究極の形だと思うんです。ですから、やっぱり、繰り返しなんですけど、電子書籍は保存性を別の形で担保する方がいいんじゃないかと。

『ブックビジネス2.0』でも、その辺は議論されていますので、またどこかで詳しく書いてみようと思います。



画像はApple社ホームページより <http://www.apple.com/jp/iphone/>

iPhone4(Apple社)

960×640ピクセル 解像度326ppi/800:1コントラスト比 (標準)

ソフトバンク/32GB 2,400×24回=57,600円

ソフトバンク/32GB 通信費用込み(機種代含む)は6,185円(税込)/月×24回=148,440円

(巻末資料) iPad



画像はApple社ホームページより <http://www.apple.com/jp/ipad/>

16GB / ¥48,800

32GB / ¥58,800

64GB / ¥68,800

1024×768ピクセル、解像度132 ppi

プロセッサ、1GHz Apple A4カスタムデザイン高性能、省電力SoC (System on a Chip)

重量、680g (Wi-Fiモデル) 730g (Wi-Fi + 3Gモデル)

Kindle

The #1 Bestselling, #1 Most-Wished-For,
#1 Most-Gifted Product on Amazon



Order now: **\$139** Wi-Fi | **\$189** Free 3G+Wi-Fi

画像はAmazonより <http://www.amazon.com/>

Kindle Wi-Fi \$139 =11,815円※

Kindle 3G + Wi-Fi \$189 =16,065円※

Kindle DX \$379 =31,875円※

※1ドル85円で計算

Kindle DX

1,200×824ピクセルの9.7型。16ビット階調、
内蔵フラッシュメモリ容量3.3GB、
最大で約3,500冊分の電子書籍の保存が可能。

本体サイズ：幅264.2×高さ182.9×奥行き9.65mm

重さ：535.81g

バッテリー持続時間：約4日間（ワイヤレス機能ON時）

バッテリー充電時間：約4時間

通勤時にも、
手軽に持ち歩いて楽しめる。



-R(レッド系)



-S(シルバー系)

5.5型 モバイルモデル
EB-W51GJ-R/-S

販売価格 39,800円(税込)



トラックボール

画像はシャープより <http://www.sharp.co.jp/mediatable/>

液晶「5.5型ワイド画面（1,024×600）」

価格：39,800円(税込)

microSDHC™メモリーカード（試供品）：8GB×1 付属

外形寸法：約 幅92×奥行12.9×高さ167mm

質量：約220g

雑誌感覚で
家の中でゆったり楽しめる。



「dancyu」10月号(プレジデント社発行)より

10.8型 ホームモデル
EB-WX1GJ-B

販売価格 54,800円(税込)



AQOSS™



-B(ブラック系)

画像はシャープより <http://www.sharp.co.jp/mediatable/>

液晶「10.8型ワイド画面」

価格：54,800円(税込)

「高精細HD液晶(1,366×800)」搭載
microSDHC™メモリーカード(試供品)：8GB×1 付属

外形寸法：約幅177×奥行14.7×高さ286mm

質量：約765g

(巻末資料)ソニーReader (PRS-650)



ひろびろ大画面でゆったり読書が
楽しめる6型ディスプレイ

画像はソニーより <http://www.sony.jp/reader/>

6型電子ペーパー

解像度 600×800ドット

16階調グレースケール

24,800円（税込）※ソニーストア価格

寸法／約幅119.1×高さ169.6×奥行10.3mm

重さ／約215g

(巻末資料)ソニーReader (PRS-650)



画像はソニーより <http://www.sony.jp/reader/>

5型電子ペーパー

解像度 600×800ドット

16階調グレースケール

価格：19,800円（税込）

寸法：約幅104.6×高さ145.4×奥行9.2mm

重さ：約215g

(巻末資料) GALAXY Tab SC-01C



画像はドコモより <http://www.nttdocomo.co.jp/product/>

サイズ 高さ 約 190mm×幅 約 120mm×厚さ 約 12.1mm (最厚部 約 12.2mm)

質量 約 382g

価格34,000～38,000円 ※2010年12末調査

(お薦め書籍)『パプーで遊んでみよう』

素敵な本を効率よく発見する方法は、現在のネットではまだ不完全だと感じています。パプーのランキングも、まだまだ改良の余地があるでしょうし、世界最大のネット書店「アマゾン」のレビュー・システムも同じです(たまに失敗します)。『電子書籍の衝撃』を書かれた佐々木俊尚さんは、ソーシャル・メディアがその役割を果たす、あるいは補完すると言っておられますが、経験的には**(1)**本屋さんに行ってじっくり本を選ぶ。**(2)**本の中に出てくる本を買うというのが当たりが多いです。

ですから、電子書籍は、もっと積極的に、他のよい電子書籍を紹介すべきかなあとか思いましたので、『パプー実験室』では、まず3冊の本を紹介することにしましょう。

3冊ともアイソメ万太郎さんの著書で、パプーでは「マニュアル」カテゴリーに属しています。1冊目は『[パプーで遊んでみよう](#)』です、アイソメ万太郎さんは、マニュアル製作を仕事にしておられるだけあって非常に分かりやすいです。HTMLの知識がなく、ネットもさほど詳しくない方にとって『[パプーで遊んでみよう](#)』はうってつけのパプー入門書でしょう。

2冊目は『[パプーで電子書籍を作ろう](#)』です。先の『[パプーで遊んでみよう](#)』がパプーのページ作成方法について書かれているのに対して、こちらはパプーで電子書籍を作成するための全体的な流れや手順が解説されています。両方ともコンパクトにまとまっておりますので、読むのに時間はかかりません。パプーで本を出版するなら、ざっとでも構わないので読んでおいて損はない本だと思います。

最後は『[パプーで遊んでみよう2](#)』。こちらは前作『[パプーで遊んでみよう](#)』から、より多様な表現について書かれています。ただ、この3冊目の内容まで入り込みますと、ePub2.0仕様との関連性が気になるところで、どこまでが正規の記述方法なのかが分からないところが、少し残念なところでもありました。(かと言って私が分かっている訳でもないけど)

他にもいくつかありますので、気が向いたら、さらに紹介していきたいと思います。



パブーで遊んでみよう2

勝手に作ったパブー非公式マニュアルの第2弾です。今回はテキストの装飾をメインに、メニューバーの操作だけでなく、HTMLエディタでCSSを使った装飾方法も扱っています。パブーで長文テキストを扱う...

📖 マニュアル 📄 16ページ

👍 0 ⭐ 8 💬 1 🆓 無料



パブーで電子書籍を作ろう

本書は、私のようなHTMLがわからない初心者ユーザーが、パブー電子書籍の製作から公開までに行った一連の手順をまとめたものです。「パブー興味はあるけど足の踏んでしまう」といった方は、ぜひ！（...

📖 マニュアル 📄 18ページ

👍 0 ⭐ 2 💬 0 🆓 無料



パブーで遊んでみよう

非公式なパブーの勝手マニュアルです。公式マニュアルに載っていないパブーの動作について、いろいろ気付いたことをまとめました。今回はテキストの編集画面を中心にまとめています。（もしかして、お役...

📖 マニュアル 📄 18ページ

👍 2 ⭐ 18 💬 3 🆓 無料